

2008. 03. 06.

寄り回り波

富山商船高等専門学校
河合雅司

1. 寄り回り波とは？

☆発生時期 12月～4月

富山湾沿岸に災害を及ぼす恐れのあるうねり性の大波

有義周期：10～12秒程度， 有義波高：3～5m程度
年に数回程度発生



写真1 富山商船高等専門屋上から撮影（2008年2月24日 13時頃撮影）

2. 寄り回り波の3つの不思議

☆突如来襲：天候が回復し風も治まった頃に大波来襲

☆地域性：大波が発生する地域と発生しない地域がある

☆時間差攻撃：大波が来襲する時間が場所によって異なる

3. 富山湾の特徴

能登半島で北西の季節風による波浪が遮断

- ☆比較的平穏な海域
- ☆冬でも漁が可能
- ☆北東からの波浪に弱い
- ☆急深の沿岸であり波のエネルギーが減衰しにくい

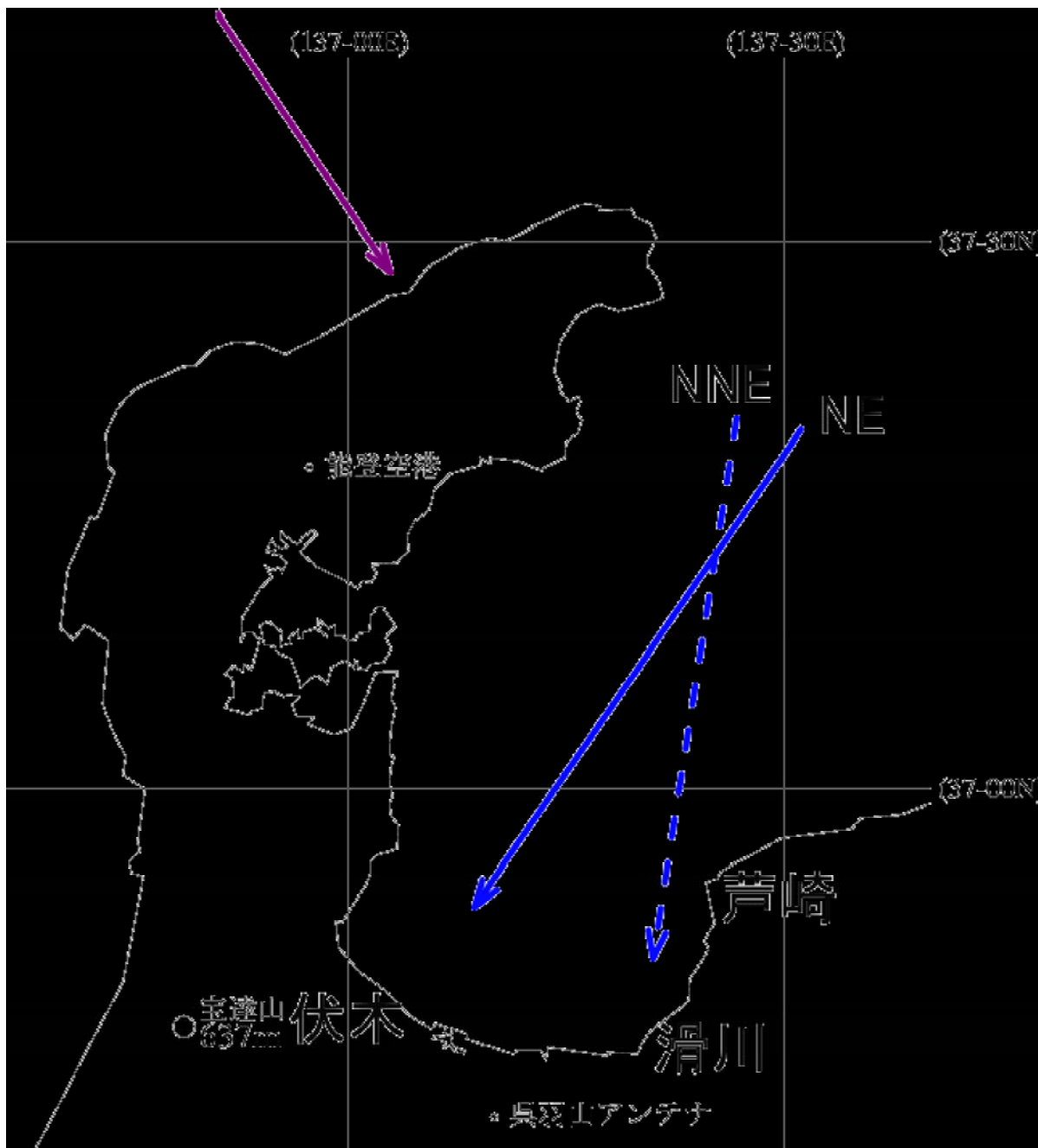


図1 富山湾

4. まとめ

☆北東からの寄り回り波が沿岸災害をもたらしたと思われる。

☆今後の課題と対策

- ・ 寄り回り波の定量的定義の確立
- ・ 寄り回り波予報通報システムの確立
例：ワンセグリアルタイムデータ放送による緊急寄り回り波情報の提供
- ・ 寄り回り波との共存（力で対抗しない方が良い）